

2021年度 決算説明資料

2022年5月12日
日本テレビホールディングス株式会社

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。

しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。

また、本資料の無断転載はお断りいたします。

- ・ **2021年度決算について**
- ・ 主なグループ会社の状況
- ・ 2022年度の見通し

2021年度のポイント

Point

1

HD化後の過去最高益を達成

- ・ 日本テレビ放送網が9年連続個人視聴率3冠王達成
スポット・シェア約3割を背景に地上波広告収入が増加
- ・ TVer含むデジタル広告収入は前年比大幅伸長
- ・ Huluの会員数は過去最高 アニメ事業等も順調に拡大

Point

2

コロナ禍を乗り越える改革の成果

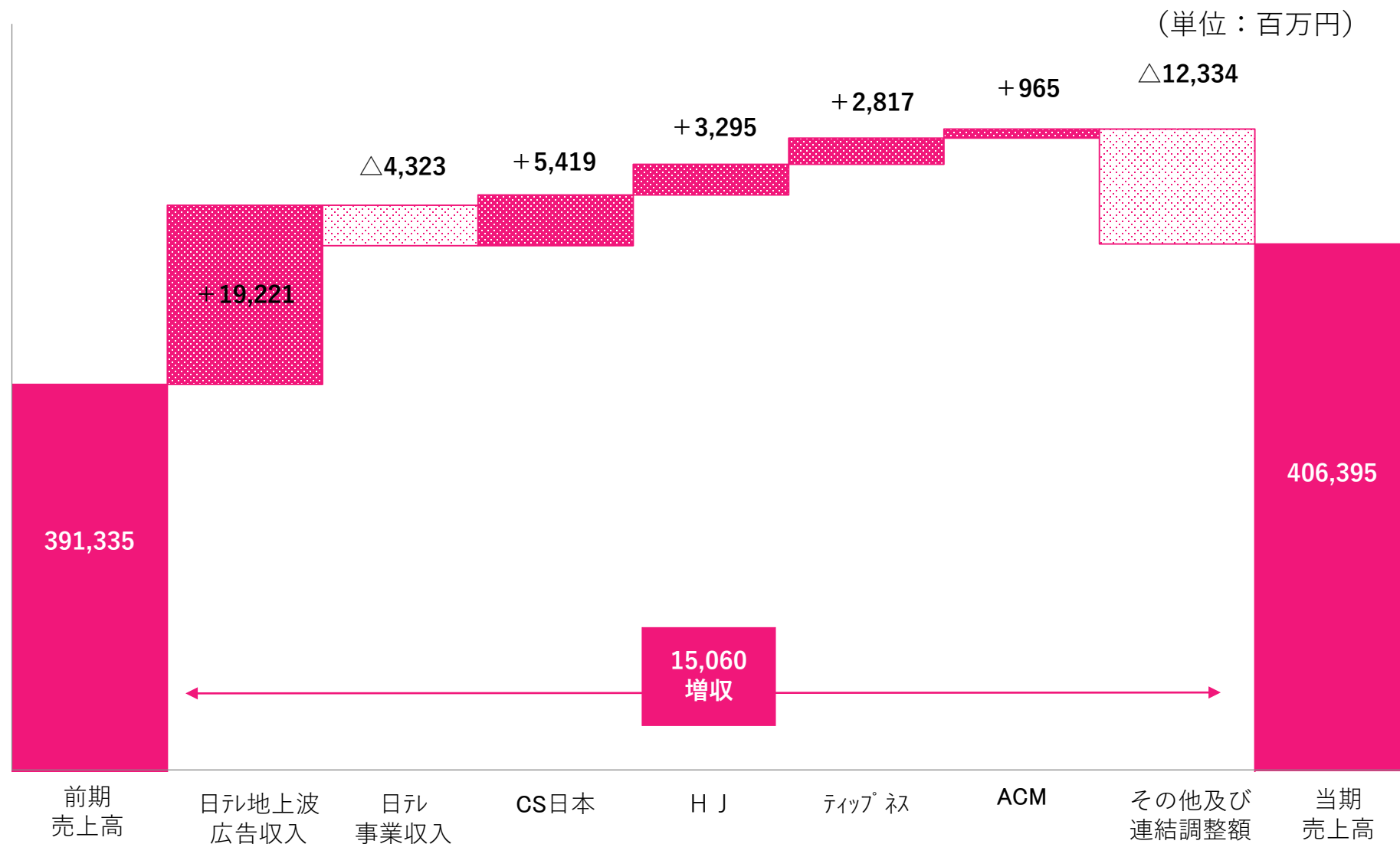
- ・ 収支構造の抜本的見直しによるグループの収益改善
ティップネス、ACMの赤字幅縮小
- ・ 番組制作費等のコストコントロール進展
- ・ HD化以来10年ぶりの大規模グループ再編に着手
- ・ ムラヤマHDの子会社化、ビーグリーの関連会社化等
戦略的投資の加速

2021年度 連結決算概況

(単位：百万円)

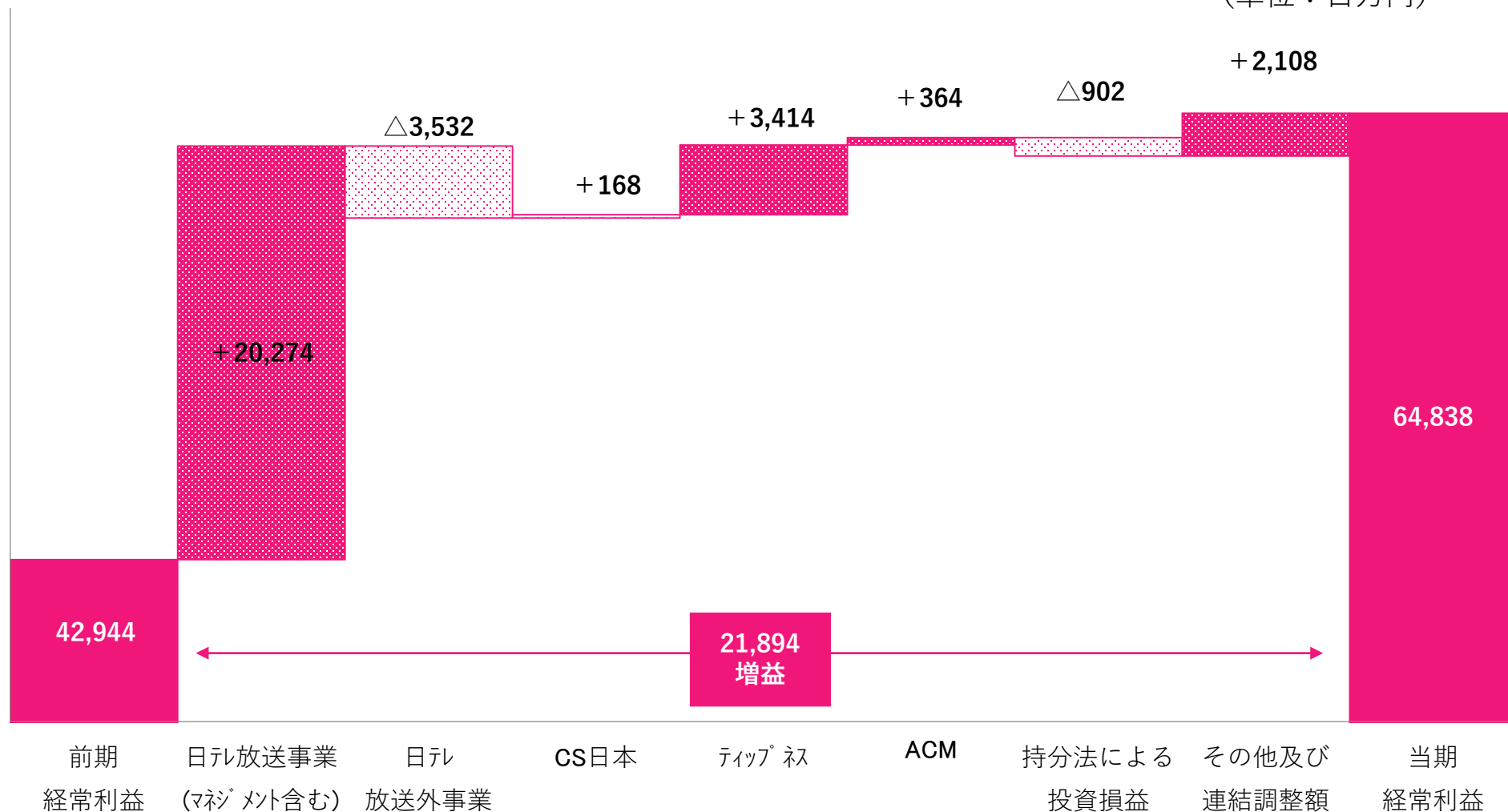
	2020年度	2021年度	増減率 (%)
売上高	391,335	406,395	3.8
営業利益	34,526	58,682	70.0
経常利益	42,944	64,838	51.0
親会社株主に 帰属する当期純利益	24,042	47,431	97.3

売上高の前年同期増減分析



経常利益の前年同期増減分析

(単位：百万円)

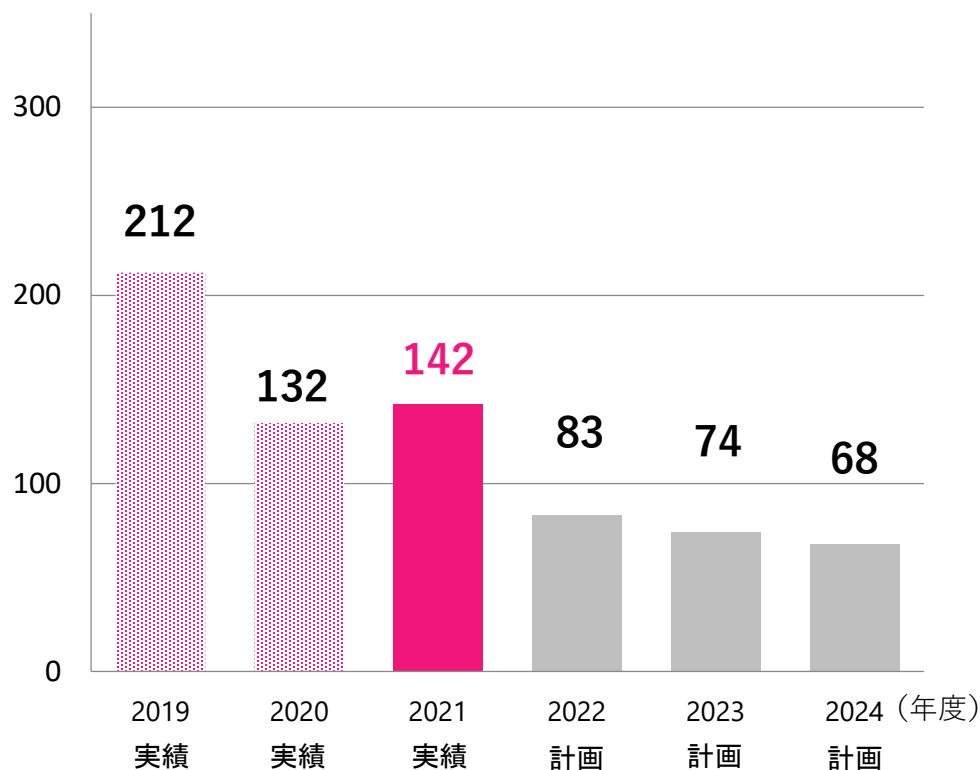


設備投資・減価償却費（連結）

2021年度 (単位：億円)	設備投資額	減価償却費
	142	158

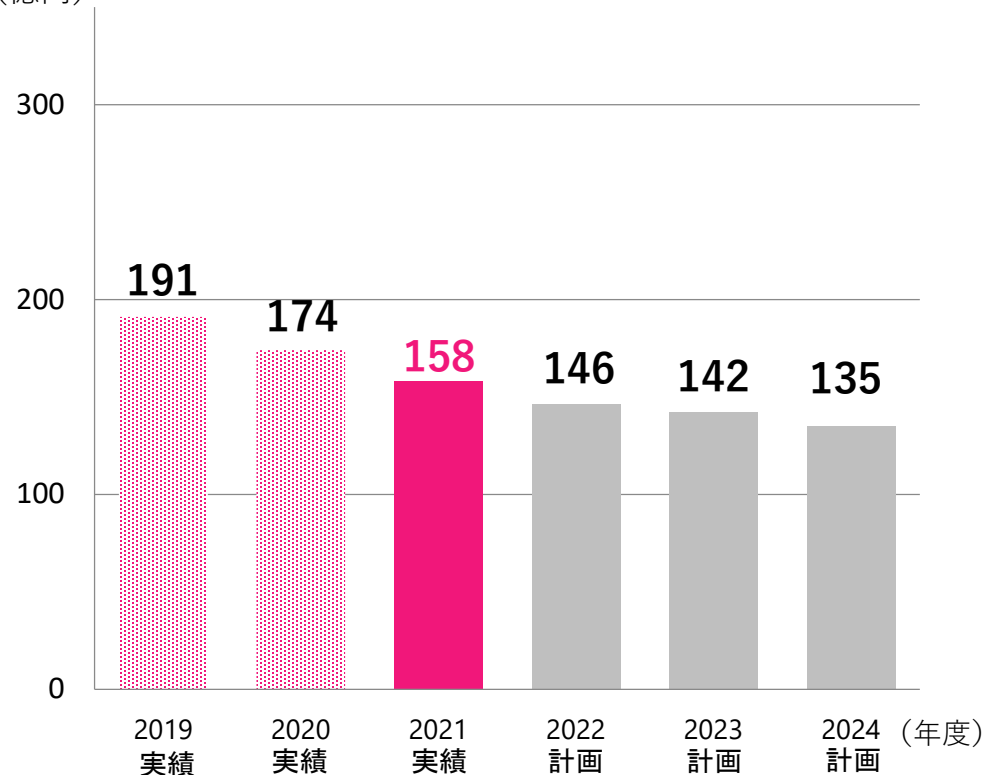
設備投資額

(億円)



減価償却費

(億円)



- ・ 2021年度決算について
- ・ **主なグループ会社の状況**
- ・ 2022年度の見通し

日本テレビ放送網 決算概況

(単位：百万円)

	2020年度	2021年度	増減率 (%)
売上高	286,314	300,729	5.0
営業利益	32,922	49,725	51.0
経常利益	36,429	52,779	44.9
当期純利益	43,718	41,661	△4.7

日本テレビ放送網 営業収入

(単位：百万円)

	2020年度	2021年度	増減率 (%)
放送収入	226,802	246,024	8.5
番組販売収入	11,342	10,808	△4.7
事業収入	45,870	41,546	△9.4
不動産賃貸収入	2,300	2,350	2.2
合計	286,314	300,729	5.0

日本テレビ放送網 放送収入

(単位：百万円)

	2020年度	2021年度	増減率 (%)
放送収入	226,802	246,024	8.5
タイム	121,016	121,066	0.0
スポット	105,786	124,957	18.1

日本テレビ放送網 営業費用

(単位：百万円)

	2020年度	2021年度	増減率 (%)
番組制作費	88,421	84,544	△4.4
人件費	21,616	21,926	1.4
減価償却費	11,139	10,677	△4.2
事業費	33,169	31,814	△4.1
その他	99,044	102,043	3.0
合計	253,391	251,004	△0.9

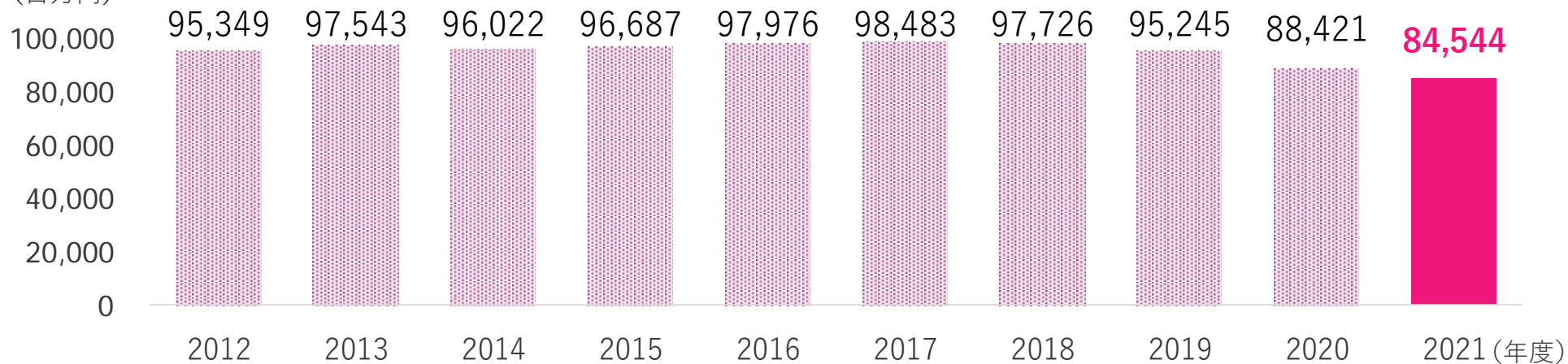
日本テレビ放送網 番組制作費

(単位：百万円)

2020年度	2021年度	増減率 (%)
88,421	84,544	△4.4

番組制作費

(百万円)



日本テレビ放送網 事業収支

(単位：百万円)		2020年度	2021年度	(単位：百万円)		2020年度	2021年度
映画	収入	10,210	4,163	IPビジネス	収入	2,285	2,003
	費用	7,193	2,031		費用	650	1,335
	収支	3,017	2,132		収支	1,636	668
イベント	収入	739	2,089	コンテンツ ビジネス※	収入	8,341	1,549
	費用	905	1,669		費用	4,465	685
	収支	△166	420		収支	3,876	864
通販	収入	11,341	8,792	その他	収入	10,232	17,496
	費用	9,876	8,252		費用	8,878	15,384
	収支	1,465	540		収支	1,352	2,111
アニメ	収入	—	3,865	合計	収入	45,870	41,546
	費用	—	2,139		費用	33,169	31,814
	収支	—	1,726		収支	12,700	9,731
海外ビジネス	収入	2,722	1,589				
	費用	1,202	319				
	収支	1,520	1,270				

※今期より日テレG+、日テレNEWS24のCS日本への業務移管により名称変更しました。

その他グループ会社の状況

(単位：百万円)	BS日本	CS日本	日本テレビ音楽	バップ	ティップネス
売上高	16,294 (7.0%)	9,579 (109.8%)	7,318 (△38.8%)	7,503 (△43.9%)	23,431 (13.6%)
営業利益 又は損失 (△)	2,283 (23.7%)	856 (24.5%)	1,867 (△8.2%)	1,581 (144.5%)	△3,088 (－)
経常利益 又は損失 (△)	2,319 (22.7%)	863 (24.2%)	1,883 (△9.1%)	1,727 (95.4%)	△3,383 (－)
当期純利益 又は損失 (△)	1,600 (21.9%)	597 (24.2%)	1,232 (△18.4%)	1,616 (204.0%)	△5,609 (－)

(単位：百万円)	日テレ7	タツノコプロ	HJホールディングス	ACM	PLAY
売上高	2,836 (△15.9%)	1,785 (8.5%)	32,786 (11.4%)	2,828 (52.4%)	7,145 (20.7%)
営業利益 又は損失 (△)	21 (△85.4%)	30 (－)	715 (27.5%)	△338 (－)	1,591 (5.9%)
経常利益 又は損失 (△)	24 (△83.9%)	34 (－)	705 (20.8%)	△287 (－)	1,584 (5.7%)
当期純利益 又は損失 (△)	16 (△84.2%)	19 (－)	680 (13.0%)	△264 (－)	1,005 (16.5%)

注： ()の数値は前期比増減率を表しています。前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「－」表記しています。

- ・ 2021年度決算について
- ・ 主なグループ会社の状況
- ・ **2022年度の見通し**

連結業績予想及び配当予想

(単位：百万円)	2021年度実績	2022年度予想	増減率(%)
売上高	406,395	435,000	7.0
営業利益	58,682	50,000	△14.8
経常利益	64,838	55,000	△15.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	47,431	40,000	△15.7

配当予想

(単位：円)	第2四半期末	期末	合計
2021年度	10	27	37
2022年度（予想）	10	27	37

2022年度地上波テレビ広告収入の見込み（前期比）

(単位：%)	通期予想
テレビ広告収入	△3.3
（うちタイム）	△6.7
（うちスポット）	±0.0

補足資料

2021年度 個人視聴率

2021/03/29(月)～2022/04/03(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全 日	① 4.0	② 3.8	③ 3.0	⑤ 1.4	④ 2.9	21.8
6時～24時	▲0.6	▲0.3	▲0.4	▲0.2	▲0.2	▲1.5
プライム	① 5.8	① 5.8	③ 4.5	⑤ 3.1	④ 4.4	33.6
19時～23時	▲0.8	▲0.4	▲0.6	▲0.3	▲0.3	▲2.3
ゴールデン	① 6.2	② 5.8	③ 4.6	⑤ 3.5	④ 4.5	35.8
19時～22時	▲0.8	▲0.3	▲0.6	▲0.4	▲0.3	▲2.3
ノンプライム	① 3.5	② 3.3	③ 2.6	⑤ 0.9	④ 2.5	18.4
全日-プライム	▲0.5	▲0.2	▲0.3	▲0.1	▲0.1	▲1.3
プラチナ	① 3.0	② 2.1	③ 2.0	⑤ 0.9	④ 1.8	13.2
23時～25時	▲0.5	▲0.4	±0.0	▲0.3	▲0.1	▲1.1

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2020/03/30(月)～2021/03/28(日)

**✓日本テレビは9年度連続「個人視聴率3冠」（プライムはEXと同率）
ノンプライム・プラチナを含み、8年度連続「個人視聴率5冠」**

2021年度 コアターゲット視聴率

2021/03/29(月)～2022/04/03(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX	PUT
全 日	① 3.3	④ 1.7	③ 1.8	⑤ 0.6	② 2.2	11.7
6時～24時	▲0.8	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲1.5
プライム	① 5.2	④ 3.2	③ 3.5	⑤ 1.6	② 3.8	20.7
19時～23時	▲1.2	▲0.3	▲0.5	▲0.2	▲0.2	▲2.5
ゴールデン	① 5.5	④ 3.1	③ 3.4	⑤ 1.7	② 3.8	21.4
19時～22時	▲1.2	▲0.2	▲0.5	▲0.3	▲0.3	▲2.5
ノンプライム	① 2.7	④ 1.2	③ 1.3	⑤ 0.4	② 1.7	9.2
全日-プライム	▲0.7	▲0.2	▲0.1	±0.0	▲0.3	▲1.2
プラチナ	① 2.7	② 1.8	④ 1.5	⑤ 0.6	③ 1.7	10.0
23時～25時	▲0.9	▲0.6	▲0.2	▲0.2	▲0.3	▲1.8

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオサーチ調べ／下段は前年度との差・比較期間2020/03/30(月)～2021/03/28(日)

- ☑ コアターゲットは「男女13-49歳」を指す日本テレビオリジナル指標
「クライアントニーズ」が高い、就業就学者にどれだけ支持されているかを示す
- ☑ 日本テレビは10年度連続「コア3冠」、8年度連続「コア5冠」。

2022年4月改編のテーマ

- ★テレビの危機を乗り越え、
生活者から支持・選択されるタイムテーブル
- ★OFFからONへ、ONからFANへ、
FANからBUZZへ！
～コンテンツを通じて、
生活者に常に話題を提供し続ける～

主な2022年4月改編

GP帯

- ① 月曜21時「しゃべくり007」を枠移動
- ② 月曜22時「月曜から夜ふかし」を枠移動
- ③ 水曜21時「上田と女が吠える夜」を編成
- ④ 4月期新ドラマ

水曜21時「悪女(わる) ～働くのがカッコ悪いなんて誰が言った?～」

土曜22時「パンドラの果実 ～科学犯罪捜査ファイル～」

日曜22時30分「金田一少年の事件簿」

土日 BC帯

- ⑤ 土曜13時30分「King & Princeる。」を枠移動
- ⑥ 日曜12時45分「超無敵クラス」を枠移動
- ⑦ 日曜16時55分「サンデーPUSHスポーツ」を編成

深夜

- ⑧ 月曜・火曜23時59分「午前0時の森」を編成

セグメント別 実績

(単位：百万円)

2021年度	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
	メディア・ コンテンツ事業	生活・健康 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高	376,817	23,194	10,348	410,360	7,042	417,402	△11,007	406,395
セグメント利益 又は損失 (△)	58,285	△3,066	3,840	59,059	510	59,569	△887	58,682

事業区分	主な事業内容
メディア・ コンテンツ事業	テレビ広告枠の販売、動画配信事業、有料放送事業、 映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、 映画事業、イベント・美術展事業、テーマパークの企画・運営、 コンテンツ制作受託、展示物の企画・制作
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産関連事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント、太陽光発電事業

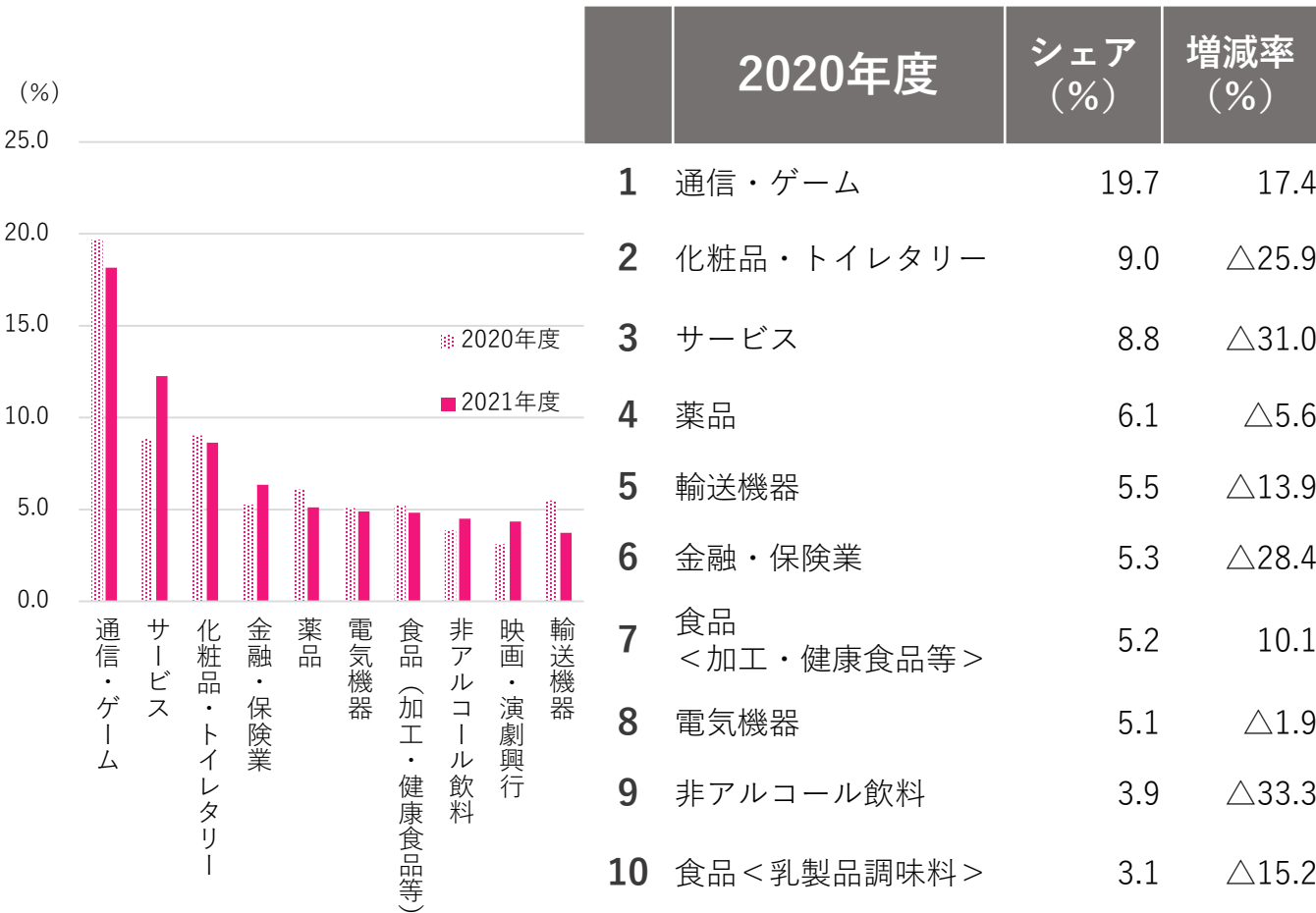
放送収入 前年同月比

タイム	2020年度 (%)	2021年度 (%)
4月	△2.4	△4.8
5月	1.9	△1.2
6月	△3.1	0.4
7月	△3.8	8.2
8月	0.6	14.5
9月	△11.6	△8.8
10月	△10.2	1.0
11月	0.1	△5.2
12月	△8.0	△0.6
1月	△2.5	△0.9
2月	△3.3	3.6
3月	△1.0	△6.0

スポット	2020年度 (%)	2021年度 (%)
4月	△24.7	25.9
5月	△40.2	79.8
6月	△47.5	100.3
7月	△32.6	29.3
8月	△26.4	18.2
9月	△18.5	33.9
10月	3.4	11.3
11月	0.4	9.8
12月	11.6	3.0
1月	△5.6	2.6
2月	4.1	△5.1
3月	3.9	△3.6

スポット業種別売上シェア

- 地上波（日本テレビ放送網） -






2021年度	シェア (%)	増減率 (%)
通信・ゲーム	18.2	9.0
サービス	12.3	63.8
化粧品・トイレタリー	8.6	12.8
金融・保険業	6.3	42.1
薬品	5.1	△0.8
電気機器	4.9	13.7
食品 ＜加工・健康食品等＞	4.8	9.2
非アルコール飲料	4.5	36.9
映画・演劇興行	4.3	65.1
輸送機器	3.7	△19.9

注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。




2022年 映画事業の主なラインナップ

☆ = 日テレ主幹事 ★ = 日テレ共同幹事 ■ = HI-AX作品

公開	作品名	配給	備考	
上映中	劇場版 名探偵コナン ハロウィンの花嫁	東宝	<p>動員ランキング圧倒的 1 位スタート！ ハロウィンシーズンで賑わう渋谷で起こる事件。 今祝祭のハロウィンが狂乱の夜行へと変貌する。</p> <p>監督：満仲 勸 ゲスト声優：白石麻衣 声の出演：高山みなみ 山崎和佳奈 小山力也 古谷徹ほか</p>	
6/3 (金)	★極主夫道 ザ・シネマ	ソニー	<p>日本中を爆笑に包んだ大ヒットドラマが 映画になって、帰ってくる！ 笑いの頂上決戦、開幕！！</p> <p>読売テレビ・日本テレビ共同幹事作品 監督：瑠東東一郎 出演：玉木宏 川口春奈 志尊淳ほか</p>	
6/17 (金)	☆メタモルフォーゼの縁側	日活	<p>数々のマンガ賞を受賞した傑作マンガの実写映画化。 17歳の女子高生と75歳の老婦人、ふたりをつない だのは、、、ボーイズラブ！？</p> <p>監督：狩山俊輔 出演：芦田愛菜 宮本信子 高橋恭平 古川琴音ほか</p>	

2022年 映画事業の主なラインナップ

☆ = 日テレ主幹事 ★ = 日テレ共同幹事 ■ = HI-AX作品

公開	作品名	配給	備考	
6/24 (金)	それいけ アンパンマン ドロリンとバケ〜るカーニバル	東京 テアトル	映画アンパンマン第33弾 かわいくて愉快的なオバケの街の楽しいお祭り！ 監督：川越淳 ゲスト声優：北川景子 ジャングルポケット 声の出演：戸田恵子 中尾隆聖ほか	
7/15 (金)	★キングダム2 遥かなる大地へ	東宝・ ソニー	2019年公開の邦画実写映画No1の『キングダム』の 劇場版第2弾！ 前作を大きく超える、邦画史上最大級のスケールで 描かれる、超大作エンターテインメント！ 夢の続きが、いま始まる！ 集英社・日本テレビ共同幹事作品 監督：佐藤信介 出演：山崎賢人 吉沢亮 橋本環奈ほか	
9/9 (金)	■HiGH & LOW THE WORST X(クロス)	松竹	バトルアクションシリーズ「HiGH & LOW」 待望の最新作！ クロスオーバー作品「HiGH & LOW THE WORST」 の続編がいよいよ登場！ Hi-AX作品 監督：平沼紀久 出演：川村壱馬 中本悠太 三山凌輝ほか	

2022年イベント事業の主なラインナップ

※新型コロナウイルスの影響で開催が延期・中止になる可能性あり

期間	イベント名	内容
[東京展] 4月29日(金祝)～7月3日(日) Bunkamuraザ・ミュージアム 国内2会場へ巡回予定 7月16日(土)～9月25日(日) 名古屋市美術館 10月8日(土)～12月11日(日) 京都市京セラ美術館	「ボテロ展 ふくよかな魔法」 	すべてのものを「ふくよか」に描く 南米の巨匠ボテロ、待望の展覧会 今年90歳を迎えた、コロンビア生まれの美術家、フェルナンド・ボテロ。あらゆる対象をふくよかに表現することで知られる世界的巨匠の、日本では26年ぶりとなる待望の大規模展が開催されます。ヨーロッパをはじめ、北米・南米、アジアでも展覧会が開かれる大人気のボテロ作品70点を鑑賞することのできる貴重な機会です。その圧倒的な迫力を体感ください。 展覧会オフィシャルサポーターはBE:FIRST。音声ガイドにも特別出演し、「ボテロ展」の魅力を伝えていきます。名古屋、京都に巡回予定。
[東京展] 7月1日(金)～9月7日(水) 東京・天王洲 寺田倉庫 B&C HALL/E HALL	「鈴木敏夫とジブリ展」 	ここにくれば、ジブリがもう一度見たくなる。 高畑勲、宮崎駿両監督と共に、数々の名作を世に送り出してきたスタジオジブリ・プロデューサー、鈴木敏夫。 実は「映画「となりのトトロ」を作ろう」と発案した人だということを知っていましたか？ あの名作の題字を書いている人だと知っていましたか？ 元々は、週刊誌記者だったことを知っていましたか？ あなたの知らないスタジオジブリの秘密を知ることができる展覧会、それが「鈴木敏夫とジブリ展」です。 展覧会アンバサダーは、鈴木プロデューサーがファンだと公言する滝沢カレンさんが就任！ 音声ガイドは、鈴木プロデューサーが交流を持ち、講談の上手さを絶賛する神田伯山さん！
[東京展のみ] 7月23日(土)～10月2日(日) 東京都美術館	「ボストン美術館展 芸術×力」 	エジプト、ヨーロッパ、インド、日本…およそ60点！ 「幻の国宝」も里帰り 古今東西の権力者たちは、その力を示し、維持するために芸術の力を利用してきました。本展では、エジプト、ヨーロッパ、インド、中国、日本などさまざまな地域で生み出された、時の権力者に縁ある芸術作品およそ60点をご紹介します。更に、「幻の国宝」と呼ばれる二大絵巻「吉備大臣入唐絵巻」と「平治物語絵巻 三条殿夜討巻」がおよそ10年ぶりに揃って里帰りを果たします。 2020年開催予定もコロナで中止となった本展覧会、待望の延期開催となります。ご期待ください。 オフィシャルサポーター：要潤 音声ガイド：鈴木健一・櫻井孝宏